

# 漫画海賊版サイトの 運営実態を調べてみた

2023年7月5日

ヤフー株式会社 政策企画本部 / Digital Crime Unit

海賊版対策実務者意見交換会 技術検証チーム

宮内秀輔

**YAHOO!**  
JAPAN

# 発表担当者について

宮内 秀輔（みやうち しゅうすけ）

ヤフー株式会社 政策企画本部 / Digital Crime Unit

フィッシング、偽サイト、海賊版、誹謗中傷など、インターネットサービスに関する不正全般について、技術・法政策の観点での調査・渉外・自社サービス対策の推進などを担当しています。

# 技術検証チームが主に調査しているもの

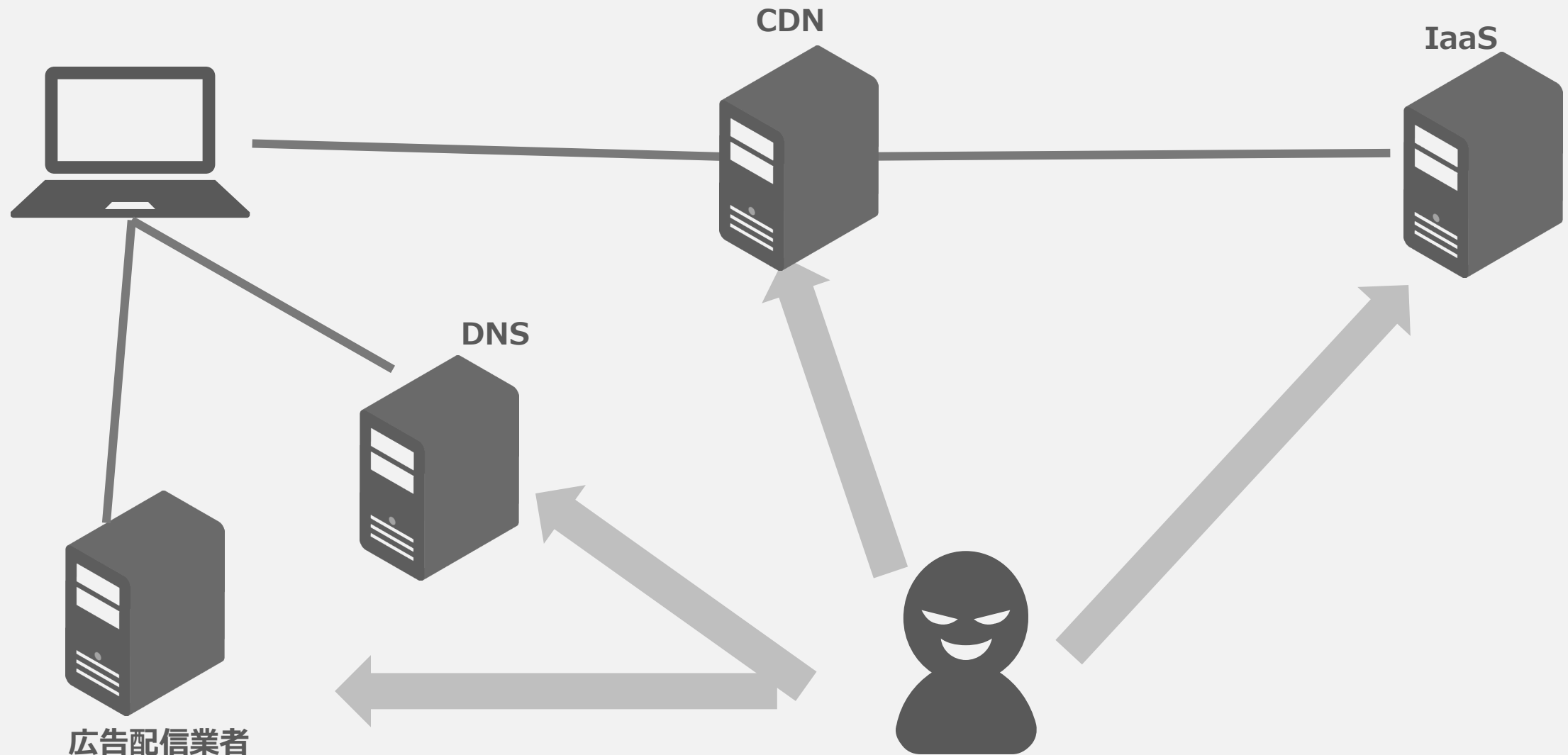
## 昨年1年間に特に注力したもの

- アクセス数の高い主要サイト間のつながり
- 運営に利用しているインフラ
- 運営にあたって活用している可能性のある補助ツール

## 今後の課題

- アクセス数の低いサイトを含めたつながりの調査
- 広告配信業者の利用実態

# 安価or無料で身元確認の弱いインフラの活用



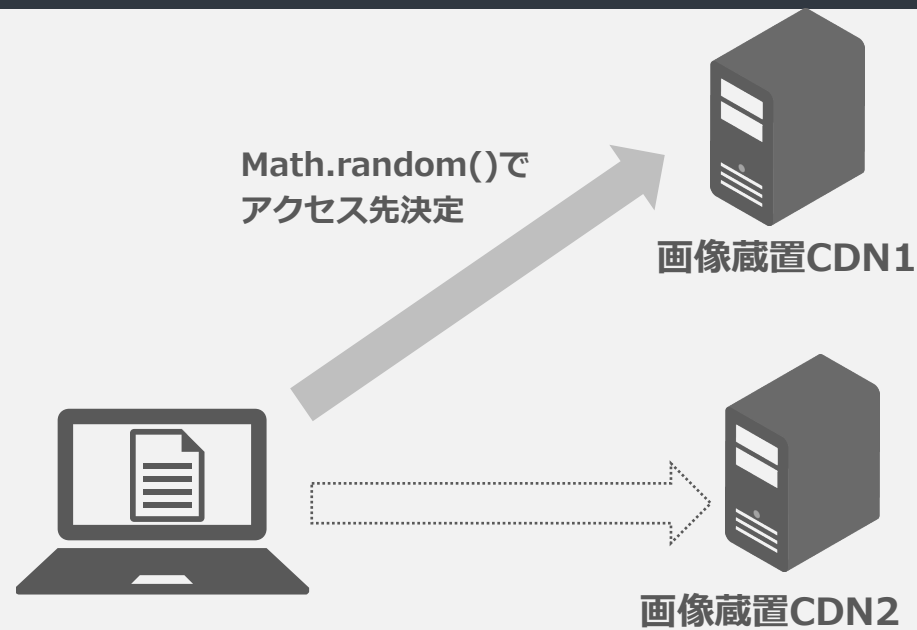
# フロントエンドでのルーティング処理も発見

```
var imgDefer = document.getElementsByTagName('img');
for(i+1; i<imgDefer.length; i++){
    if(imgDefer[i].getAttribute('onload') == 'xxxt(-1)'){
        var image_cdn1_url = imgDefer[i].getAttribute('cdn-src');
        var image_cdn2_url = imgDefer[i].getAttribute('data-src');
        var image_cdn_url = Math.random() >=2 && image_cdn1_url ? image_cdn1_url : image_cdn2_url;
        imgDefer[i].setAttribute('src', image_cdn_url);
        imgDefer[i].setAttribute('onload','xxxt(' + i+')');
    }
}
```

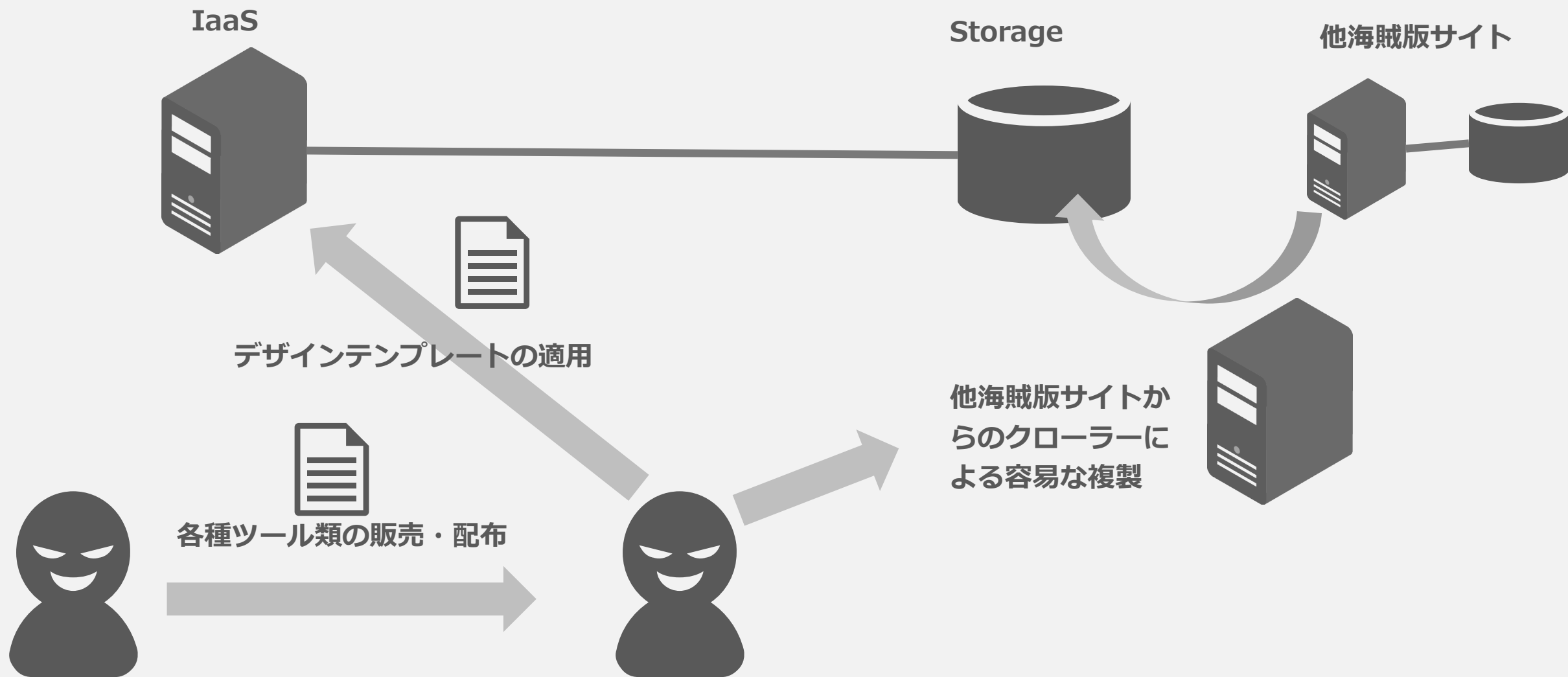
上記は海賊版サイトの最大グループで一時期みられたJavaScriptコード。

JavaScript上で画像配信CDNのプログラムルーティングを行っている。

※よくみるとMath.random()のところにバグがあり実際は機能しない。  
そのためか、最近はこのコードが使われる形跡はない。



# 漫画海賊版サイト運営を助けるツールが存在



# WordPressテンプレートの販売を確認



WordPressベースの似たデザインのサイトばかりであることから調査したところ、Mangaサイト用としてWordPressデザインを販売しているサイトを確認。

# 画像収集クローラーも発見

**Manga - [Pixelated Logo] Crawler**  
Crawl/Scrap manga from [Pixelated Logo] Easy.

HOME > EXTENSIONS > MANGA - FANFOX (MANGAFOX) CRAWLER

**Manga - [Pixelated Logo] crawler**  
★★★★☆ (3 customer reviews)  
**\$ 129**

Allow you to crawl data and import manga from [Pixelated Logo] .net). It supports both Auto (all mangas) and Manual (single manga) mode. With Proxy settings and various options.

For custom crawler request, please check: <https://bit.ly/custom-crawler-faqs>

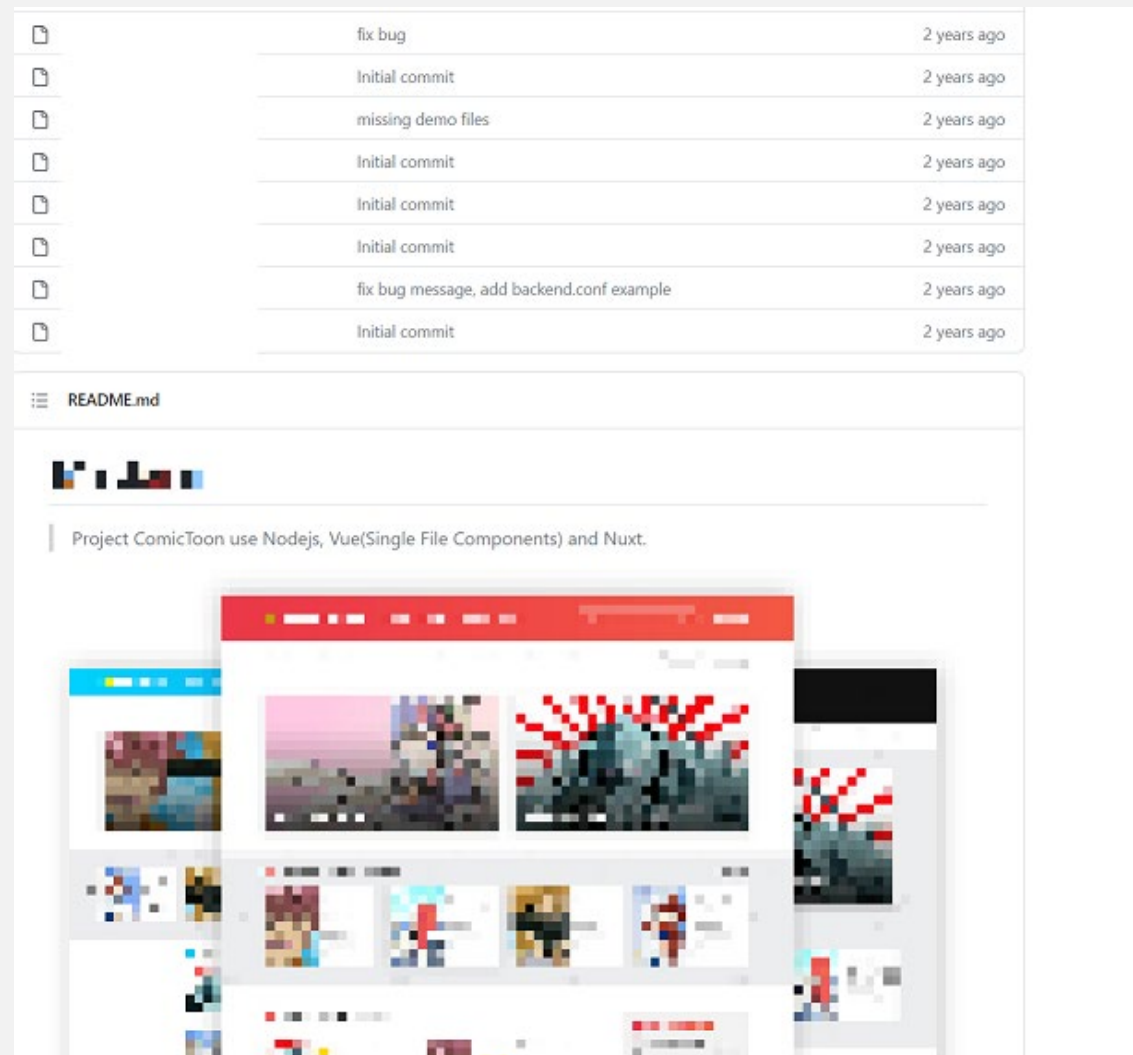
同サイトではこのほか他海賊版サイトから画像を収集するクローラーも販売されていた。



# Github.com上でも確認

Github.comでも、前述のデザインを利用したマンガサイトのWEBアプリ、クローラーの開発コードが散見された。

右は前述のデザインを利用したサイトをNode.jsで動くようにカスタマイズしたソースコードのリポジトリ。



# 漫画の海賊版サイトも運営グループがある

海賊版サイトA



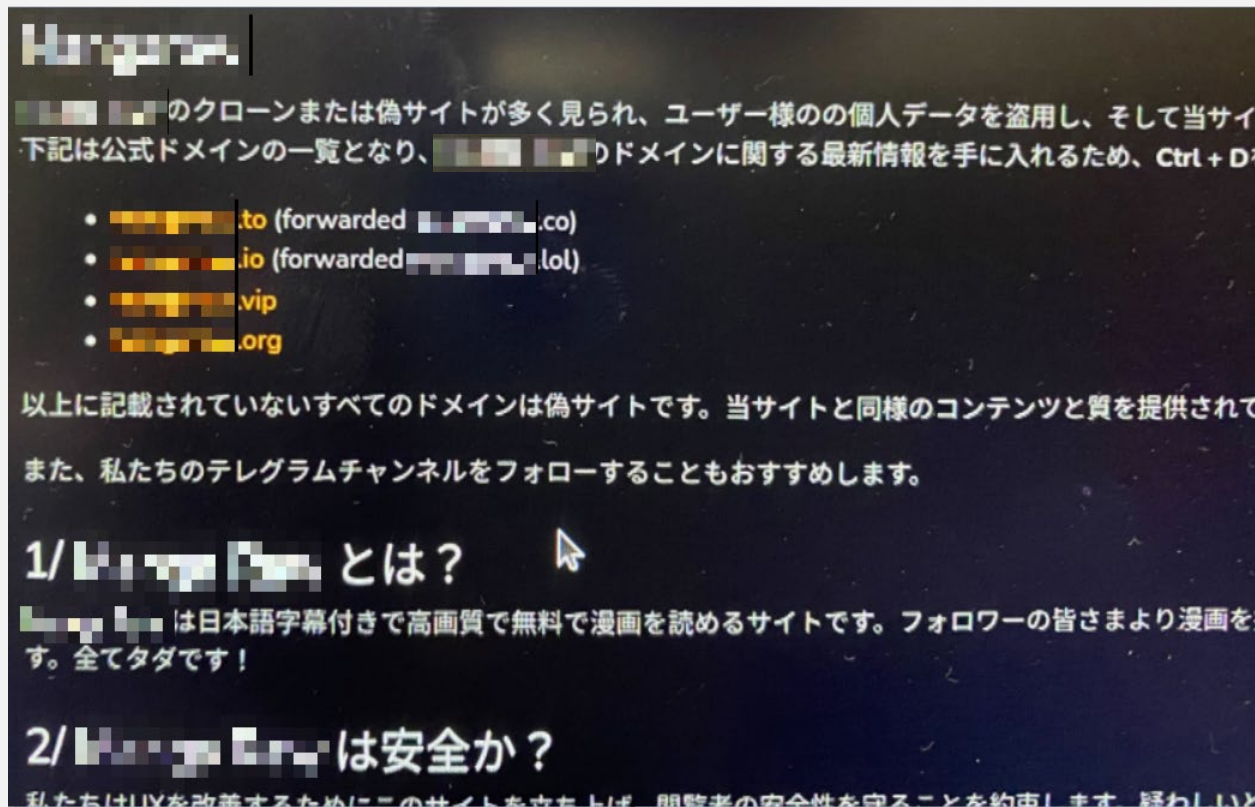
海賊版サイトB



サイト間の相互リンク  
画像データなどの連携

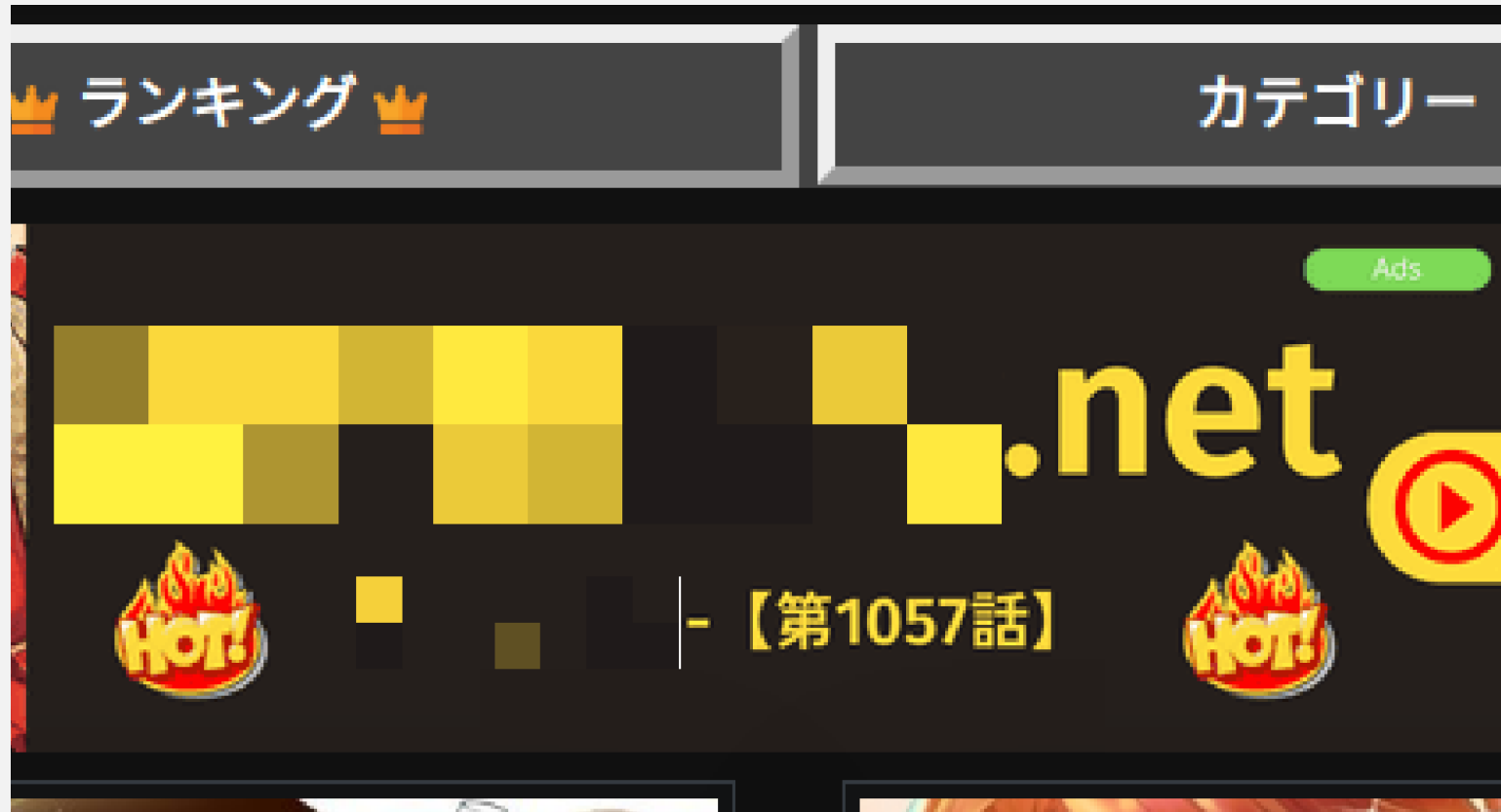


# グループ間でも対立関係がある



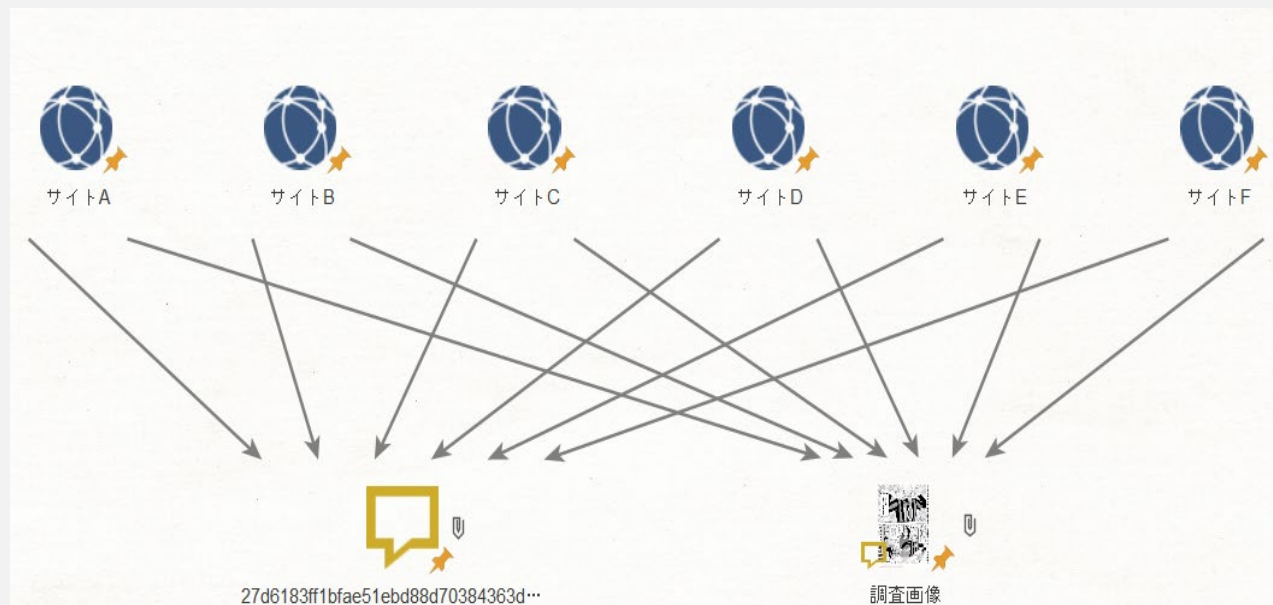
上の写真はとある海賊版サイトで一時期掲載されたお知らせ  
グループの関係性や対立関係、コミュニティの案内を行っている

# グループ内での相互連携



とある海賊版サイトのトップページで広告（Ads）として出されていたバナー  
トップに.netから始まる別の海賊版サイトバナーを紹介して存在を周知している

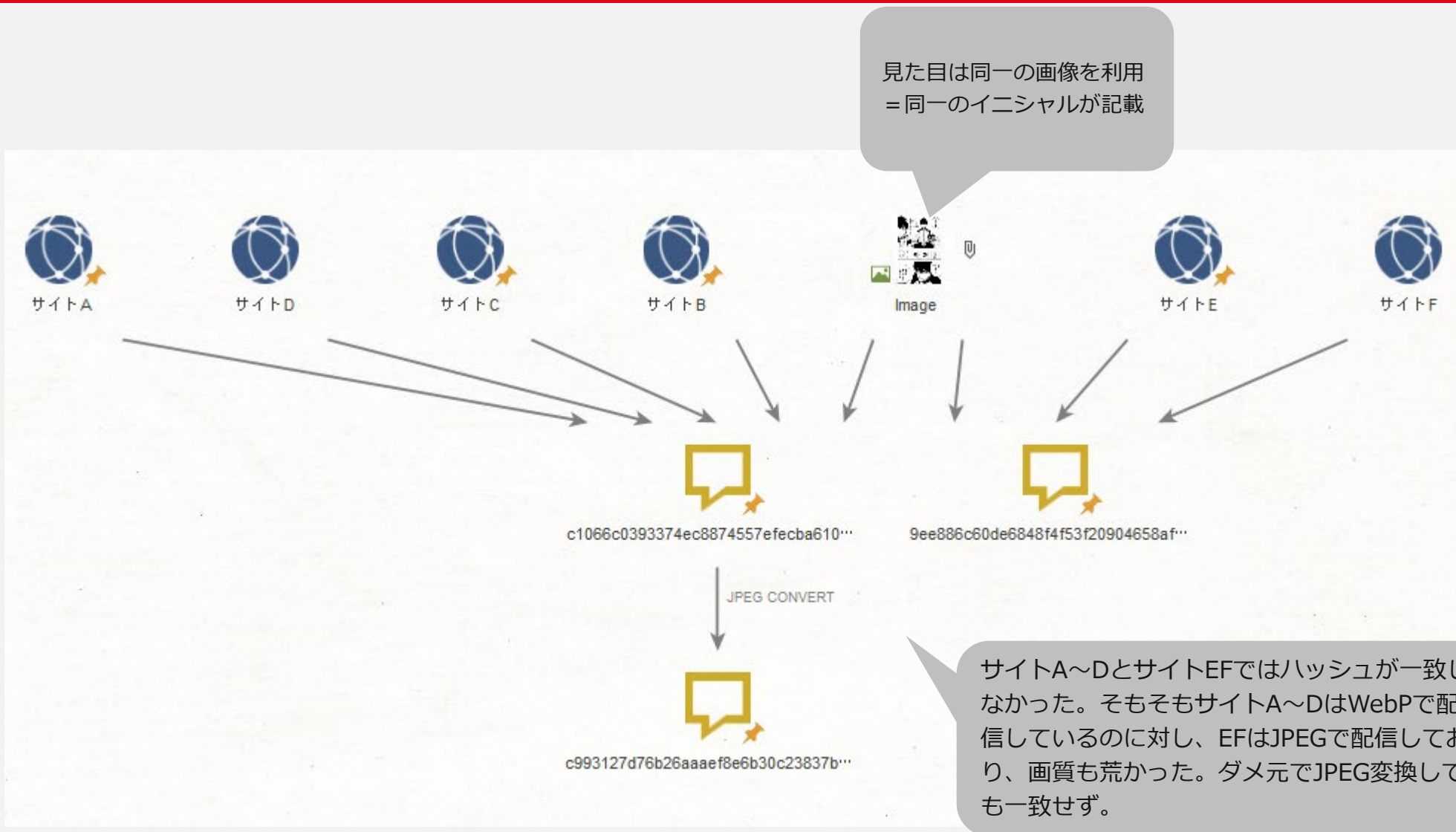
# グループ内での利用画像同一性の確認



ハッシュを計算したところ、グループ内で画像が同一であることが分かった。

右が調査に使った画像であるが、グループ中のサイトのイニシャルを入れており、もとより同一グループであることが推測されていた

# 見た目は同じでも異なることも



# 判明してきたグループ間の関係

	サイトデザイン	画像のイニシャル	画像配信	サイトの安全性の表明	その他
グループA	Bと類似 WordPressテンプレ	XXXX.com ABCで同一	WebP	安全と表明	グループ外のサイトを偽サイトと言及
グループB	Aと類似 WordPressテンプレ	XXXX.com ABCで同一	WebP	9割安全と表明	
グループC	類似性がない	XXXX.com ABCで同一	JPEG	言及なし	

グループAの表明があるようにグループBは対立関係があったと推測されるが、運営ナレッジや利用画像から元のルーツは同一である可能性がある。

グループCはグループABと見た目は同じ画像を使うが配信形式が異なるなど運営形態に違いがある。

グループCの方が画質が粗いという観点から、グループCは二番煎じのような存在であり、グループABの対策検討が最優先課題ではないかと考察される。

# まとめ：この1年間でわかってきた全体図

